

【平成 29 年 11 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

静岡県商工会連合会

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 29 年 11 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 29 年 11 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 37 商工会より回答）【回収率 97%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【機械金属業の業況・売上が悪化、旅館業の DI 値は軒並み好転】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-10.8（前月-8.8、前年同月-15.5）で、前月比 2.0pt の悪化となった。10 業種中機械金属業を除く 9 業種はマイナスの DI 値を示している。機械金属業においても 2.7pt の悪化となったが、一方で旅館業が 10.8pt の好転を示し、売上・採算・資金繰りの各 DI 値が好転した。いずれの業種も原材料・原油価格の上昇や人手不足が経営上の問題点として上がっている。

【製造業】

業況は-0.9（前月 0.9、前年同月-7.2）と前月と比べ 1.8pt 悪化した。繁忙な事業者は設備や人手の不足などの課題を抱えている。また、原材料高によるコストアップにより、食料品製造業では仕入単価 DI が 24.3pt 上昇した。機械金属業では、短納期による繁忙状況が続いているとのコメントが複数あった。

【建設業】

業況は-10.8（前月-8.1、前年同月-5.4）と前月と比べ 2.7pt の悪化を示した。仕事の依頼はあるが人手不足との声が相変わらず多い。また中古機材の価格も高騰しているとの声もあった。

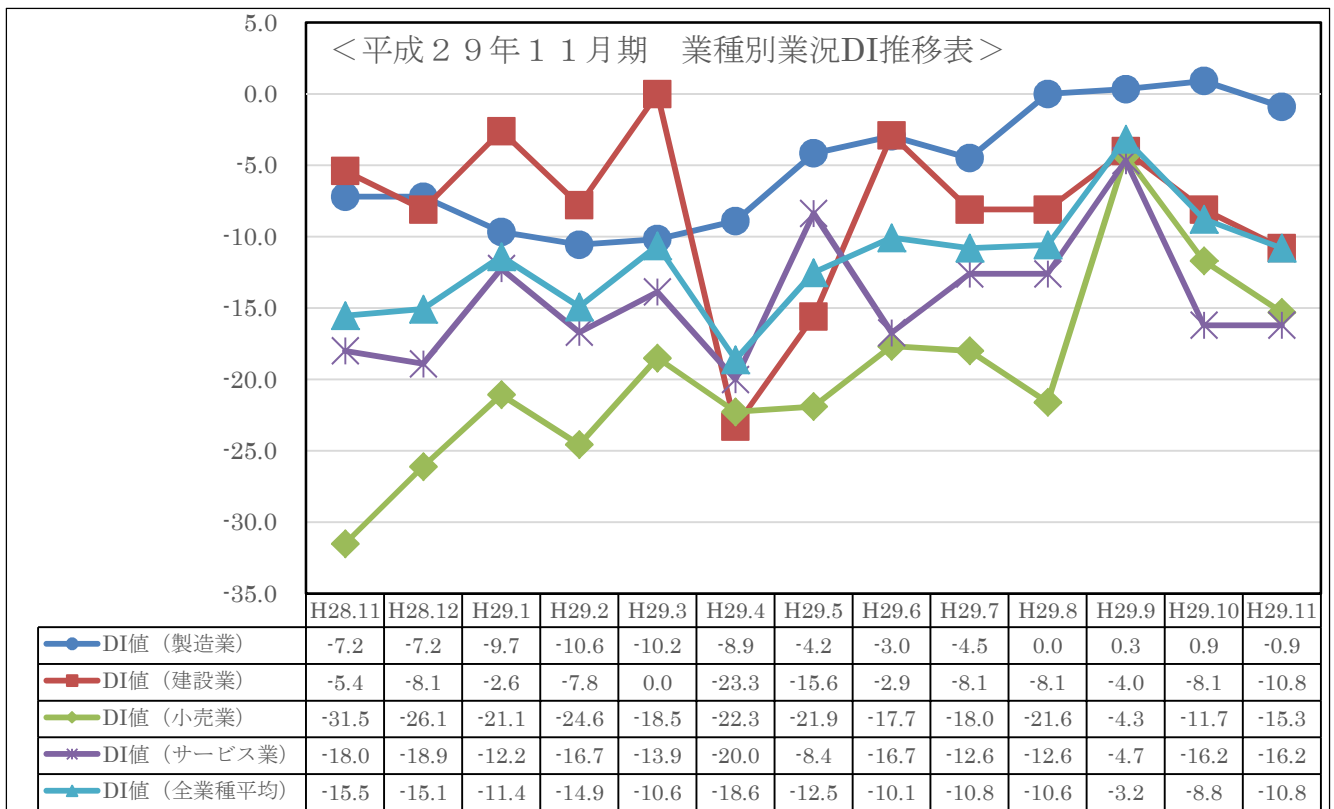
【小売業】

業況は-15.3（前月-11.7、前年同月-31.5）と前月と比べ 3.6pt 悪化した。食料品小売業では、鮮魚や野菜の価格が上昇して消費者が敬遠したとのコメントがあった。

【サービス業】

業況は-10.2（前月-10.2、前年同月-18.0）と前月と不変であった。旅館業では、紅葉シーズンに入り売上、採算、資金繰りの各 DI 値が好転し、入込客画像化したなどのコメントがあった。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 情報・経理課 TEL054-255-8080〔担当：豊田〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・ 漁業不漁により水産加工業の仕入れ価格が高騰し資金繰りが悪化。(中部)
- ・ キャベツ仕入れ値の変動幅が大きい。11月は先月の2倍となった。(中東遠)
- ・ 機械部品加工では、短納期の仕事が増えている。(富士駿東、西遠)

【建設業】

- ・ 人材不足が顕著である。また中古機材の価格も高騰しているとのこと。(中部)
- ・ ハウスメーカー下請けの新築大工工事は忙しい。(中東遠)
- ・ 町内の登録業者で修繕工事を行なうと、金額に応じて地域振興券を支給する事業が8月から始まり、事業予定期間は6ヶ月であったが、好評で、4カ月程度で予算に達したため終了した。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・ 今年の11月は比較的暖かかったため、秋物が多少長く売れている。(伊豆)
- ・ 天候不順の影響で一部野菜の高騰が目立ち消費者が敬遠。(伊豆)
- ・ シラス干しの原料であるイワシの稚魚不漁により、在庫不足が続いている。12～4月まで禁漁期間に入るため、このままの不漁が続くと在庫が底をつく。(西遠)
- ・ 冬物家電が動き始めた。季節物の谷間を工事で埋めることができるようにしたい。(中東遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・ 秋の紅葉シーズンで週末を中心に例年並みの入込があった。(伊豆、中部)
- ・ 洗濯業において、路面店もさることながら大型店内テナントも売上は厳しい状況(西遠)
- ・ 理美容は横ばい(中東遠、西遠)

小規模企業景気動向調査(平成 29 年 11 月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-16.2	-18.9	好転
売上	-10.8	-5.4	減少
仕入単価	27.0	2.7	上昇
採算	-24.3	-5.4	悪化
資金繰り	-18.9	-10.8	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.4	0.0	悪化
売上	-5.4	-13.5	増加
仕入単価	5.4	-2.7	上昇
採算	-8.1	-5.4	悪化
資金繰り	0.0	0.0	不変

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	18.9	21.6	悪化
売上	24.3	24.3	不変
仕入単価	5.4	8.1	低下
採算	0.0	2.7	悪化
資金繰り	0.0	0.0	不変

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-10.8	-8.1	悪化
売上	-10.8	2.7	減少
仕入単価	16.2	16.2	不変
採算	-5.4	-2.7	悪化
資金繰り	-13.5	-2.7	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-18.9	-18.9	不変
売上	-16.2	-18.9	増加
仕入単価	8.1	2.7	上昇
採算	-16.2	-13.5	悪化
資金繰り	-16.2	-18.9	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-16.2	-2.7	悪化
売上	-18.9	-16.2	減少
仕入単価	32.4	29.7	上昇
採算	-24.3	-10.8	悪化
資金繰り	-5.4	0.0	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-10.8	-13.5	好転
売上	-2.7	-5.4	増加
仕入単価	13.5	16.2	低下
採算	-10.8	-8.1	悪化
資金繰り	-13.5	-8.1	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.4	-16.2	好転
売上	2.7	-21.6	増加
仕入単価	18.9	16.2	上昇
採算	-10.8	-18.9	好転
資金繰り	-13.5	-18.9	好転

9.洗濯業

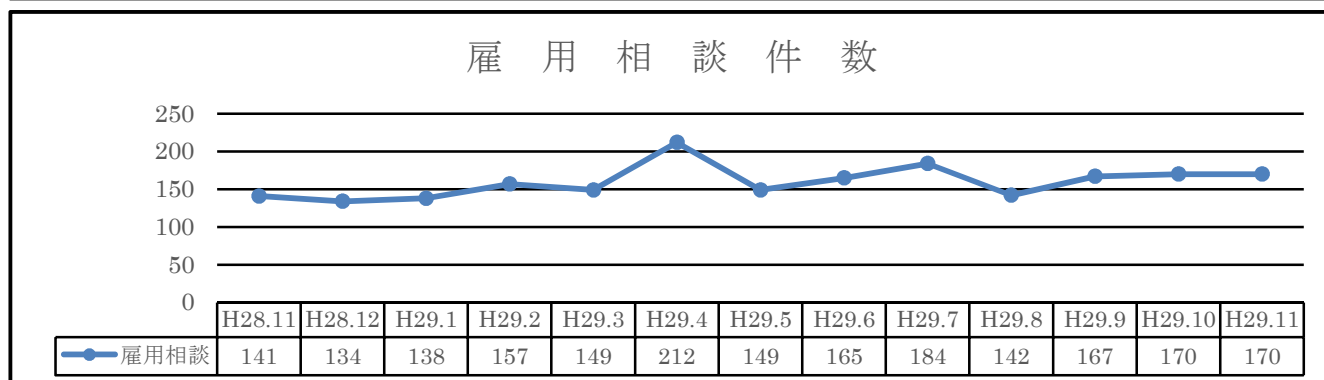
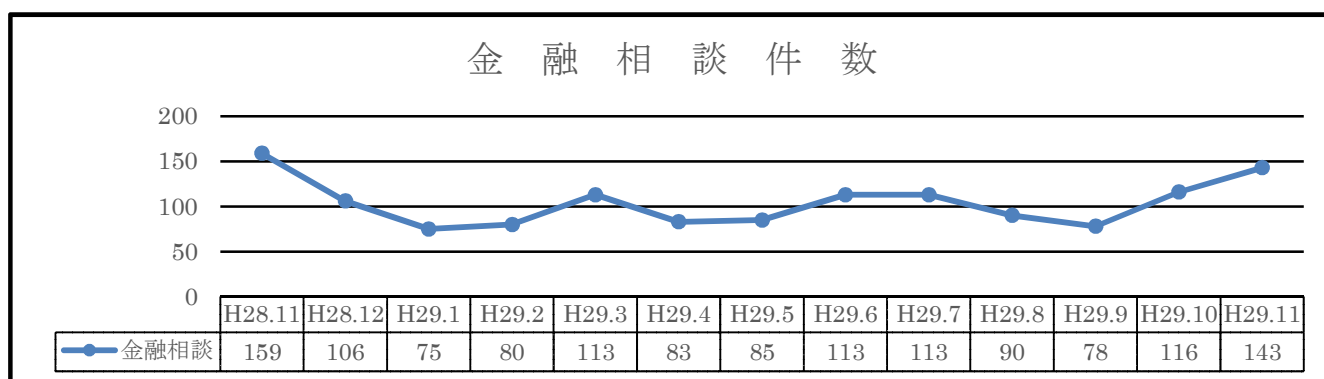
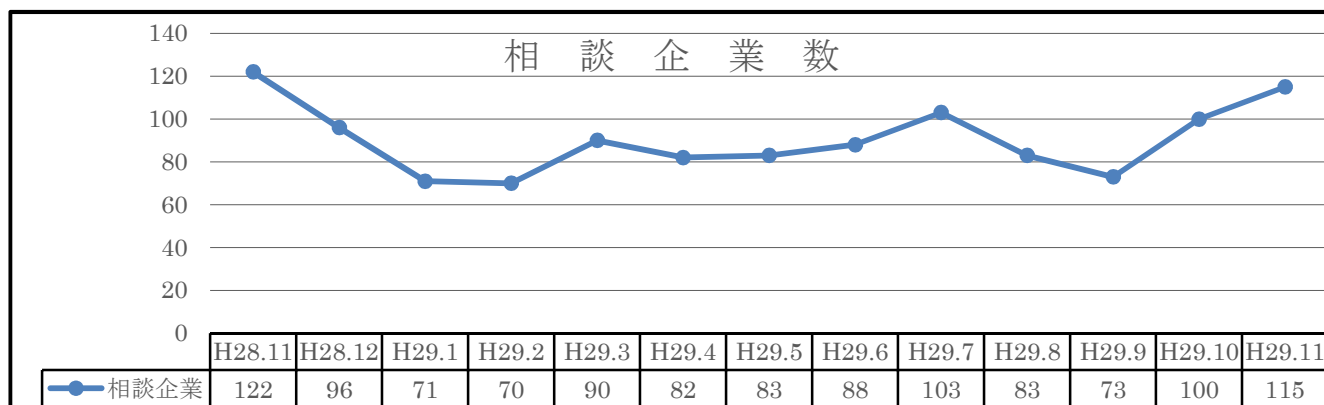
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-18.9	-18.9	不変
売上	-8.1	-16.2	増加
仕入単価	13.5	8.1	上昇
採算	-16.2	-8.1	悪化
資金繰り	-10.8	-16.2	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-24.3	-13.5	悪化
売上	-18.9	-13.5	減少
仕入単価	0.0	0.0	不変
採算	-10.8	-2.7	悪化
資金繰り	-10.8	-13.5	好転

金融・雇用相談実績月次報告(平成 29 年 10 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	115	100	15
【金融相談件数】	143	116	27
新規融資（借換えを除く）	84	76	8
既存債務の借換え	51	33	18
借入れ条件変更	1	2	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	7	5	2
【雇用相談件数】	170	170	0



【金融相談】

金融相談件数は、1日公庫の開催等により143件と前月(116件)に比べ27件増加した。相談については運転資金の相談が主であったが、前向きな資金需要も出てきている。

<経営指導員コメント>

- ・一日公庫を実施した。前向きな融資相談が増加している。(伊豆)
- ・年末資金相談を行ったが資金需要は低調。(中部)
- ・時期的なものでもあるが、資金繰りが厳しいので小規模企業共済を解約する相談が多い。仕入、経費の支払いが、売上入金より先にくるので、繋ぎ資金としての利用が目立つ。経営者がだんだん高齢になり、廃業を考える企業かでてきた。事業承継をもっとPRしていく必要があると感じる。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、170件と前月(170件)と同数だった。人材不足を挙げる声が相変わらず多い。

<経営指導員コメント>

- ・飲食店、FCファーストフード店、コンビニの従業員不足は顕著。(伊豆、中東遠)
- ・人手不足の相談が業種に関係なく多い。まず、ハローワークへの求人登録をしてもらうが求職者が強く企業側は厳しい状況である。業種によっては外国人技能実習生の受入れを勧めるが経費面から受入を拒むことが多い。(中部)
- ・中小企業への新卒採用が難しい。申し込みが少ない。(富士駿東)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・地域特産品を使った商品開発が活発になってきた。このうち、富士宮市稲子産の梅を使った梅大福が「ふじのくに新商品セレクション」で金賞を受賞した。(富士駿東)
- ・紅葉が見頃となり、特に小國神社は平日でも観光客が多く混雑していた。(中東遠)
- ・毎年開催している産業祭を開催。行政合併後、実行委員会事務局を市から任せられて10回目の開催であったが、本会職員も欠員がある中で事前準備から片付け、行政各課や関係各所との調整や前後の会議開催等、経改事業以外の業務が多い。地域振興事業としては天気が良く多数の来場者数があつて成功と言えるが、出店者は商工会会員企業以外が多く、市の予算も削減傾向の為、このまま商工会が事務局を継続していくかを検討すべきと思われる。(中東遠)
- ・今年も牡蠣の取引が始まったが、浜名湖産は例年に比べて質・量ともに上々の模様。しかしながら、牡蠣生産同士(1次産業)の話し合いで値段を決めているので、価格が下がらない。利益を圧迫されるのは、中に挟まれた卸売業者(商工会会員)である。(西遠)